

福山市人権交流センター ニュース

発行：福山市人権交流センター
編集：NPO 法人ゆにばーさる
〒720-0835 福山市佐波町 262-3
Tel (084) 951-5700 fax (084) 951-5701
E-mail:jinken-kouryu-center@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市人権交流センター人権啓発・交流事業
「ヒューマンシネマサロン」を実施します。

映画 あの日のオルガン

日時：2020年7月23日(木) (海の日)

1回目 10:00~12:00

2回目 13:30~15:30

場所：福山市人権交流センター ホール

入場無料・申込不要

上映時間 119分

53人の子どもの笑顔を守る。それが、わたしたちの使命だった。

<ストーリー>

戸越保育所の主任保母・板倉楓は、園児たちを空襲から守るため、親元から遠く離れた疎開先を模索していた。別の保育所・愛育隣保館の主任保母の助けもあり、最初は子どもを手放すことに反発していた親たちも、せめて子どもだけでも生き延びて欲しいという一心で保母たちに我が子を託すことを決意。しかし、ようやく見つかった受け入れ先はガラス戸もないボロボロの荒れ寺だった。幼い子どもたちとの生活は問題が山積み。それでも保母たちは、子どもたちと向き合い、みっちゃん先生はオルガンを奏で、みんなを勇気づけていた。戦争が終わる日を夢見て…。そんな願いをよそに 1945年3月10日、米軍の爆撃機が東京を襲来。やがて、疎開先にも徐々に戦争の影が迫っていた。

駐車台数に限りがあります。できるかぎり乗り合わせでのご来場、または公共交通機関のご利用をお願いします。
※定員は各回ともに先着70名です。来場時にはマスクの着用をお願いします。また、受付にて参加者のお名前・電話番号等の記入をお願いします。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

2020年度ふくやま人権・平和フェスタ実行委員 募集!

毎年12月4日~10日の「人権週間」期間中には、福山市内でさまざまな啓発イベントが行われています。人権交流センターにおいても『ふくやま人権・平和フェスタ』を開催しております。

今年度も多くの人たちの知恵を出し合った素晴らしい魅力あるフェスタを創造するために、実行委員会を組織します。ぜひスタッフの一員として参加してみませんか。

~活動団体・個人・学生など実行委員の応募をお待ちしています!~

※新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかわる措置として、事業が中止となる場合があります。

問合せ：福山市人権交流センター NPO 法人ゆにばーさる
Tel 084-951-5700



ふくやま人権・平和フェスタ実行委員会の様子



2019年度 ふくやま人権・平和フェスタの様子

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染された方をはじめ、その家族や同僚、友人、治療にあたった医療関係者等に対して、不当な差別、偏見、誹謗中傷やいじめ等の人権侵害は、あってはならないことです。

国や地方団体が提供している新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をお願いします。

◆人権に関する相談窓口◆

法務省の人権擁護機関では、新型コロナウイルス感染症に関連する不当な差別、偏見、誹謗中傷やいじめ等の被害に遭った方からの人権相談を受け付けています。

みんなの人権 110 番（全国共通人権相談ダイヤル）

TEL 0570-003-110（平日 午前8時30分から午後5時15分まで）

子どもの人権 110 番

TEL 0120-007-110（平日 午前8時30分から午後5時15分まで）

外国語人権相談ダイヤル（Foreign-language Human Rights Hotline）

TEL 0570-090911（平日 午前9時00分から午後5時00分まで）

インフォメーション

2020年度人権交流センターロビー展示

ロビー展示「アイヌ民族の歴史と文化」

期間：8月20日（木）～ 9月17日（木）

内容：日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史と文化、また現在おかれている状況を正しく知り、アイヌ民族への理解を深めるとともに、相互の文化を尊重する意義について紹介します。



さつもと き とまり
「擦文土器」（泊村教育委員会蔵）

ロビー展示「私たちの暮らしと憲法～教科書無償の取り組み～」

期間：9月24日（木）～ 11月5日（木）

内容：国民主権、基本的人権、平和主義の三原則を掲げ、1947年5月3日に日本国憲法が施行されました。子どもたちの貧困が大きな問題となっている昨今、憲法の本質は私たちの暮らしに生かされているのでしょうか。

現在の小中学校の教科書は無償化されています。2010年からは公立高校の授業料が無償化され、私立高校も一部助成が始まりました。2020年度からは私学の助成金も拡充され多くの生徒は実質無償になりました。

子どもたちの経済的な学びの環境は少しずつ改善されてきています。

この原点となったのが1961年から始まる高知市長浜の教科書無償の取り組みです。大変厳しい運動でしたが、部落解放運動や教職員組合、民主団体の長い闘いが基礎となって1963年から1969年にかけて順次無償化されました。

資源に乏しい日本では、とりわけ人材の育成が大切になります。将来の日本を支える子どもたちの教育環境改善の取り組みについて紹介します。